



研究所だより



今年も残り少なくなってきました。皆様方におかれましては年末に向けてご多忙な毎日をお過ごしのことと存じます。本研究所においても町内小中学校のご支援、ご協力によって2回目の中土佐検定を終えることができました。心から感謝とお礼を申し上げます。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大に始まり、5月、8月は更に感染者数の増加という一年となりました。ワクチン接種、医療体制の整備等の対策も進められましたが、変異ウイルス「オミクロン株」も見つかり、まだまだ気の抜けない状況です。一日も早く、日常生活が回復し、マスクのいらぬ毎日になって欲しいものです。

さて、研究所では本年度も中土佐検定の取組を行っています。今後は、1月に2回目の中学校漢字、2月に3回目の小学校算数、中学校数学と英語の検定を行うことになっています。

この中土佐検定を実施し始めた頃、私は町内の中学校に勤めていました。実施にあたり色々な意見や心配事がありました。まず、今、学校で行っている基礎学力への取り組みに加え、更に中土佐検定の取り組みを行うとなると、生徒や教員への負担が重くなるのではないかとということです。また、生徒全員が検定に合格して認定書を手にするのができるのかという課題もありました。けれども、基礎基本をしっかり学習することの重要さはどこの学校もわかっていましたし、取り組みも行っていました。そこで、まずは中学校の数学のみで実施することになりました。

検定を行うにはテキストが必要となります。このテキストの作成は大変な作業だったと思います。当初は冊子ではなく、試行ということで用紙に印刷したものを綴じて冊子にしたテキストを使用していました。東北大学の川島隆太教授の監修の下で実践している兵庫県小野市の「おの検定」を参考にして、脳の前頭前野を育てるために基礎的な問題を繰り返し学習できるテキストの作成を目指し、家庭でもテキストを活用して学習ができるような内容になりました。その後、研究所、学校で話し合いを重ねて小学校の算数、中学校の英語、漢字の検定に向けて取り組めるテキストの作成、改訂が行われました。

この中土佐検定への取組は、脳の前頭前野を育てるための一つの手段として始められました。このほか音読や規則正しい生活習慣等で、前頭前野を健康に育てることができます。これからも中土佐検定テキストを繰り返し学習して、検定に挑戦し、前頭前野を育てることができるよう研究所としても各学校と協力していきたいと考えています。来年もよろしくお願いいたします。

「やればやるほどに脳が活発に動き、
前頭前野を鍛えることができる」



所長 古味 秀夫

令和3年度 中学校中土佐検定結果

◎第1回漢字（中学校）9月22日実施

学年	1年生 (6級)	2年生 (4級)	3年生 (2級)	町全体
受検者数	35	23	42	100
平均点	92.5	82.7	80.8	85.3
合格者数	35	22	40	97
合格率(%)	100%	96%	95%	97%

◎第2回数学（中学校）11月9日実施

学年	1年生 (8級)	2年生 (5級)	3年生 (2級)	町全体
受検者数	34	24	42	100
平均点	71.4	78	74.7	74.4
合格者数	31	22	36	89
合格率(%)	91%	92%	86%	89%

◎第2回英語（中学校）11月9日実施

学年	1年生 (8級)	2年生 (5級)	3年生 (2級)	町全体
受検者数	34	24	42	100
平均点	78.7	73.3	81	78.4
合格者数	29	22	37	88
合格率(%)	85%	92%	88%	88%

※平均点は本試験のものです。合格率は再試験、再々試験を含めてのものです。

合格率100%に到達しませんでした。第1回の中土佐検定が数学89%、英語87%の合格率とほぼ同じ結果でした。検定への取り組み方法の工夫等により、どの子どもにも基礎学力が定着するよう繰り返し学習し、家庭学習でも活用して全員が合格して欲しいものです。

輝く子どもたち

2学期当初は、新型コロナウイルス感染拡大により学校への訪問ができませんでした。中旬より感染拡大も減少傾向となり、各学校での公開授業が行われるようになりました。授業の中で子どもたちがどれくらい自分の考えを発言しているか。また、友達と関わる活動が行われているのかに注目して授業参観させていただきました。今後ともよろしくをお願いします。

☆11月4日（木） 大野見中学校授業改善プラン 授業者：福中賢一 教諭
2年 理科 「電流とその利用」

豆電球の明るさ電力の関係について、実験を行い、データより関係性を見だして授業でした。3名の生徒が役割分担して、協力し、試行錯誤の中で実験を行っていました。回路の接続はうまくできましたが、電流計の接続で時間を要し、最後のまとめの根拠の表現が十分でなかったのが残念でした。自分たちでよく考え、ICTを活用した結果のまとめがとても良かったと思います。

☆11月4日（木） 久礼中学校授業改善プラン
授業者 谷岡潤朋 講師

2年 理科 「電流とその利用」

電熱線の電圧と電流の関係をグラフや表から見出し、説明できる授業でした。数学の比例を活用して考え、電圧と電流の関係が説明できていました。友達に向かって説明することで関わりを深めることができたと思います。



久礼中学校2年生

☆11月10日（水） 大野見小学校校内研修
授業者：藤川純帆 教諭

2年 国語科 「ヒーローの大工事」

説明文からある事柄に関係づけて読み取る授業でした。準備物でわかりやすく説明できたところはすごい見通しをもっていると感じました。児童の発言を切り返して深め、単語から文章で発言できるように日頃から心がけると理解が深まるのではないかと思います。



大野見小学校2年生

中土佐検定実施予定

- 1月20日（木）漢字検定（中学校）
- 2月 3日（木）数学・英語（中学校）
- 2月 9日（水）算数（小学校）

来年も
よろしく

